

發行編輯人 川崎文治

本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金貳錢 廣五號十二行 休日曜大發
 一冊五錢 料字詰一行 日祝日ノ翌
 郵局掛不城郡平町長橋町三五
 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日五十二月二

常盤論壇
保險は文明の宗教
 粟津清亮

(一)
 吾人は自然の微を鑑じ、人文の精を究める程、益々宇宙の廣大と萬象の靈妙に驚嘆して、神の創造と攝理の前に懺伏せざるを得ぬ。神を畏敬し神の暗示を覺知する所に人類の優越性がある。茲に人類の使命が認められ、茲に人生の目的が闡明せられる。人力を以て天工を奪ふなどと言ふが、其實天工の億千萬分の一に觸れるに過ぎぬ。宇宙間の一切の事象を科學的に説明し盡

さうとするには億千萬劫を要する。「ダーウイン」が「種の起源」を著して人類も他の劣等動物から進化したものだ」と結論したとき歐洲の宗教界には一大恐慌が起つたと云ふことであるが、假令人類が猿から進化したように其猿の祖先が又狸であつたとしても、現在人類の優越性を傷けるものではない。進化論は現在の人類を更に一層進化させて神の崇高に接近せしめる福音である。

人生の最終の目的は何であるかと言へば、私は人類が神によつて創造せられた事實に直當して之を生存在

在りて斷定するに躊躇せぬ。創造夫自身が生である。死滅を目的とする創造のある筈はない。勿論生の中には極めて儂ないものがある。蓮花の一朝にして萎れ、蜉蝣の夕を待たぬ命もある。人生に於ても朝の紅顔夕に白骨となるためもある。其他幾多の駭魄的な異象もある。徒に是等を觀て人生を假りの宿りとし其眞の目的を天國に在りとして之に急ぐ如き思想は虚弱な矛盾的偏見である。吾人は最も強大なる意義に於ける生存を遂行して造化の創造の趣旨に協合せねばならぬ。之が即ち人類の使命である。

品質優良 長年精製
関内精木所
 平町南町 看護婦派出所
 電話三〇七番

番〇六一 呼話電町橋長町平
 マシタイ達配速早ズラハ拘ニ少ハ文ヲ御
 スマ願シ試御ハ度ニ非

加藤營業所
 白銀町一五番地
 振替口座仙臺六二四三番
 電話三三二五五番

福壽
 淋病 婦人病 包茎 專門
 川門病 院病村松
 部科外

仲間町商店向十圓
 同勤人向四圓五、四圓
 櫻町勤人向五圓八圓
 内郷村小島
 白銀町勤人向六圓
 商店向十圓
 幸圓

神戶、災、平代理店
 東洋火災、平代理店
 共保生命警東代理店
 御用は電話二二番へ

株式買賣
 一人買價高話電

諸株式の賣買に應じます
 取引は迅速を第一とします
 取扱は親切を旨とします
 川添房次郎は當店に關係なし
 株式現物賣買「電略〇ト」
駒場四郎商店
 平町田町六八電話四六五番

あん餅で 東北一...
 鐵道省御用舖
花澤四良司菓子店

平町電四二八番

便利と經濟の親玉
 瓦斯で火をおこすには電氣ト金物特賣の「瓦斯火おこし」に限りません。炭がくすねず取扱に便利でございませう。特價たつた金貳拾錢です。御家庭用の釘抜キ又は金鎖には「小松式四德金鎖」をおすゝめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚きます。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化籠、東洋籠、大正籠の御試用をも願ひます。

どうぞ見るだけでも来て見て下さい
 平停車場前 平電氣株式會社
電機ト金物販賣部
 平町電四二八番

お出の節御特參下さい
 どんな催しでも
 お遊びに御出下さい
特遊券
 平町松本園池の端
 中野 電話三三六番
 右効期間三月三十日迄
 一枚でお幾人様にも共用できます
 切取

春 十五年式
 セールと
 着尺モスリン
 帯側地と
 小紋錦紗
三井吳服店
 平町三丁目
 電話三八番

遠藤パン
 京都産出瓦斯販賣 有聲座隣
 コルクス持約販賣

吳服類は總べて
電の商標を御信用願ひます
 安く良くは電の標語です
 必ず御満足して戴ける確信です
 最近の當店へぜひお遊びを願ひます
中野吳服店
 平町三丁目(電話六七番)

赤心堂 病院
 平町田町
 電話四七五番

代價拾錢 藤田家傳
 藤田榮助
 平町田町電話三二八番

湯の嶽一帯に 禁獵區を設定

獵友會が奔走し 近く實現の運び

石城地方に於ける狩獵熱の勃興は近來特に著しきものあり同郡内本年の出願数は實に合計四百二十九名の多數に達して居るが生憎

地方には 之等好獵家の期待を満足せしむるに足る獵區無きたる將來の獵物たる鳥獸の蕃殖保護を圖るべく適當なる地を卜して禁獵區の設定を希望するもの少からず殊に不獵友會員の

一部にあつては同郡箕輪村高野温家同箕輪の瀧及湯の嶽

附近一圓 を區域とする一禁獵區の設定に關し具体的立案を爲して熱心考究中なるもの、如く而も右に關する法規上の手續はさめ知事より於て決行出来る關係上

至極簡單 なことに

なつてゐるから百二十間を超へざる間隔を以て周圍に立てることになつて居る木標の費用も捻出さるゝ場合には之れが實現は或はさして遠からぬ將來なるかに觀られてゐる

赤井嶽の 仁王尊彫刻 來月下旬到着 石城郡湯井嶽仁王門は昨

年四月落成したが仁王尊像

は目下東京の泰紹世氏が彫刻中であつて來月廿日頃赤井嶽に到着の見込である因

に到着の際は青年團總出にて是れを搬送し五月五六の

兩日披露の祭りを執行する

夏井村で

助役の取消

縣でも珍しい

石城郡夏井村會は二十六日招集昨年度決算並びに追加豫算に關する件十五年度豫算區長選舉ならびに後代理

者選舉の件を附議決定した區長般同村助役に認定され

た青木清太郎氏が村會議事録變造行使事件で起訴猶豫

され助役として不適當であるからこれが認定取消しに

關して附議するはずで未だ本縣には斯うした前例は珍

らしく一般より注目されてゐる

悪周旋屋を 徹底的取締

現在半警察署管内人事周旋業免許者は四十八名あり昨

年度より八名の増加で更に二三年前より見れば三割乃至四割の増加を示してゐる

が之等免許者の外に人事の周旋をなす者相當あり特に

ため出荷に困難を來す様なこともなくなるわけで地方炭界には非常な運輸上の便宜となるわけである

平町から

三越へ出品

諸種の木工品を

東京三越に於て來月七日より開かるべき東北銘産品陳列會に平町より出品すべき

は木工品であつて其氏名左記の通り

五丁目目佐々木榮吉、二丁目鈴木木治、立町荒川淺

次郎、五丁目片寄小彌太

白銀町山澤吉三、三丁目

佐々木喜代治、才穂小路

吉田五平、立町蘭部長治

材木町小平初太郎

平町内郷方面は此程無免許のもの少からず、これ等は昨今の不況と共に激増する傾向を示してゐるが一部には未だうら若い婦女子を誘

人を乗せた腕車が 貨車に弾ね飛ぶ

車夫の眼球飛び出す 乗客は命拾へ

廿四日午前三時四十分頃常磐線湯本級間陸前濱街道踏切を福島縣石城郡湯本町字上町人力車夫相澤卯之衛門

(一)が同町大王崎産婆業樋口(二)を乗せて差違、

之際上り五百四號貨車が進行して來たので待避し列車

の過ぎたるを見て横断せん

とした處下り五百九號貨車

の進行して來たのに觸れ卵

之衛門は顔面に打撲傷を負

ひ右の眼球飛び出し鼻は挫

けて左右の足には擦過傷を

負つたので直に入山炭礦の

附屬病院に擔ぎ込み目下手

當中なるも仲々の重傷であ

る乗客は奇蹟的にも背に打

撲傷を負つたのみであつた

平郵便局異動 平郵便局主事小川竹松氏は新潟

折に開き前年度決算本年度

から煮出の味加減を作つて

おいて煮立つた所へ材料を

入れ材料に火に通つたらす

ぐおろします。身のこはれ

易い魚は敷箔に並べて煮ま

す。魚の味加減は一切味

淋一、醬油一、ニ出汁一の

割合に合せます、てりをつ

けるものはそのニ汁に砂糖

を加へ詰めて魚にかけま

す。齒切のよいのを賞味す

るもの、又菘豌豆等色よく

ニ上げるものは蓋をせず強

火で手早くニ上げる。軟か

くニ込む物は蓋をして中火

でゆつくりニます、黑豆の

ニ豆椎茸のつゆニてりごま

めの様に光澤を出したいも

のはニ上つてから皿に上げ

急に煽いて冷します

表すると共に將來更に一段の奮勵を希望して止ま

ざるなり即ち本日造仕舞の嘉慶をトシ紀念品を贈

呈し聊か感謝の意を表す

鶴仙醸造元松吉屋 松本金次郎

平窪火防宣傳 石城郡平窪村大字中平窪にては

第四部消防手が出動し火防宣傳の印刷物を各戸に配附

したと

蒐の耳

場高條源吉(三)方に

に二十四日午前二時頃一名

の怪漢忍び入り奥の間に寢

てゐた源吉の娘(一)を

誘へてゐる娘を強奪

逃走す 埼玉縣入

豫算役員改選等を附議した

中の作青年會

石城郡江名町中の作青年團にて

は廿四日午後六時から公會

堂に於て總會を開き大正十

四年決算報告及び貸地變更

に付き料金に關する件入團

者及び脱團者に關する件等

を協議したと

各校修學旅行

石城郡泉村小學校にては廿五日

勿來町小學校は廿六日、阿

見飛行場見學に廿六日、阿

小學校にて廿六日水戸へ

一泊の豫定にて同飛行場に

修學旅行する由

諏訪祈年祭

石城郡赤井村大字高萩郷社諏訪神

社にては廿五日午前十時よ

り郡長參向して祈年祭を執

行する

政黨に狂奔

する者から

クビを切る

石城郡内郷村磐城炭礦にて

は緊縮方針から役員及び従

業員を淘汰すべく先づ政黨

色彩が明らかで政黨運動等

に狂奔する者を血祭りにあ

げるといふ

す。齒切のよいのを賞味す

るもの、又菘豌豆等色よく

ニ上げるものは蓋をせず強

火で手早くニ上げる。軟か

くニ込む物は蓋をして中火

でゆつくりニます、黑豆の

ニ豆椎茸のつゆニてりごま

めの様に光澤を出したいも

のはニ上つてから皿に上げ

急に煽いて冷します

かつさらつて逃走したので

源吉が驚いて直に村の火の

見やぐらに登り警鐘を亂打

して村人を集め犯人の行方

搜索中であるがまだ發見す

るに至らない

平町人事

出生

△材木町二 石川龜三郎長男新喜

△八幡小路七二 長谷川清氏三女八

△八幡小路七二 長谷川智恵子(一)

△見月町二五 根本定美(一)

△二丁目一〇 橋本トシ子(一)

募集

文藝其他投稿

を募集します

募集